

(一社) 桐生倶楽部歩く会 10月例会

担当 平岩 腰塚 岸田

大山詣での 大山登頂

10月8日、午前6時予定参加者8名全員揃い、桐生倶楽部出発。北関東道から関越・圏央道・東名と高速道路を乗り継いで、伊勢原大山PAで下車、そこから細い一般道を通り大山ケーブルカーに乗って終点から歩き出す。コースはきつい表参道コースとなだらかな展望台コースがあり、後者を選ぶ。歩きだして間もなく、朱色の立派な阿夫利神社下社に寄り、道中の安全を祈願して出発。なだらかで幅の広い登山道は、木段でよく手入れが行き届いて歩きやすい。二重滝を過ぎ、しばらく行くと、視界が開けそこが展望台だ。展望台からは、相模湾に浮かぶ江の島が近くに見え、その向こうに三浦半島遠くうっすらと房総半島が見える。目を東に転ざると、大東京の中にひと際目を引くスカイツリーが望める。山と海、両方を一挙に手に入れてなんとも贅沢な気分になる。ここからのコースは時折右手に相模湾を望む以外は、単調で山頂まで続く木段をひたすら登る。山頂について余りの人の多さにびっくり。かなり広い山頂部は、次から次と来る人の波で埋め尽くされている。年間100万人を超えるハイカーを受け入れる人気の山の本領を垣間見た気がする。大富士が近くに望めるはずだが、天気予報によると、午後は下り坂とのこと。予想より早めに昼前後から雨が降り始めた。予定を早め、下山開始。幸いなことに降りは弱く、合羽を着て、事なきを得た。今回うれしかったのは、全員が山頂を極めたことであり、残念なことは大富士を見られなかったことである。もう一回登ってみたい、魅力的な山だった。

岸田 記